

ふじさと

11月25日発行

№. 543



『祝 町制施行50周年 祝い餅まき!!』

11月1日～9日は、町制施行50周年記念ウィーク。2日には、50周年実行委員会による祝い餅まきが行われ50周年を祝福しました。

最近ではなかなか行われなくなった餅まきに、みんな大興奮！大人も子どもも歓声をあげ、夢中になって餅をキャッチしていました。

このあと、ふじさと地元学成果発表会、渡辺えりさんによる記念講演会が行われ、記念ウィーク2日目を盛り上げました。

今月の紙面

- 2～3面…藤里町町制施行50周年記念式典
- 4面……50周年記念ウィーク
- 5面……50周年ふりかえり
- 6～7面…職員給与等状況
- 8～10面…交通安全町民大会
- 11面……2013町民祭
- 12～13面…町の出来事・みんなの話題
- 14面……白神山地寄席
- 15面……ハピネッツ応援ツアーほか
- 16面……みんなの掲示板ほか
- 17面……お知らせ
- 18面……図書室だより
- 19面……町発注事業入札結果

藤里町町制施行50周年記念式典 各分野にわたりご尽力された 6名と6団体を表彰



(上段左から) 虹のいえ利用者自治会 (小林隆広氏)、田中昭一氏 (代理: 田中恭敬氏)、藤里町の子どもを守る会 (菊地信雄氏)、佐藤定義氏、心といのちを考える会 (袴田俊英氏)、藤里町芸術文化協会 (村岡信裕氏)、根城青年団 (加藤祐也氏)
(下段左から) 伊藤碩彦氏、山田昭一氏、鎌田孝一氏、佐々木町長、藤原議長、福司満氏、藤里町体育協会 (佃忠久氏)

昭和38年に実施された町制施行により、町では毎年町制施行記念日にあたる11月1日に、町民の模範として各分野で活躍し、町の発展に貢献されている個人や団体の功績を称え表彰しています。今年には町制施行50周年にあたるため、50周年記念特別表彰を加え、11月2日に式典が行われました。

今年度も数多くの功績者の中から、社会福祉功労者1名が受賞され、2名・1団体に感謝状が贈られました。また、50周年記念特別表彰では、3名・3団体に表彰状、2団体に感謝状が贈られました。

これは、町と町民代表者で構成される「表彰審査委員会」の審議を経て選定されるもので、昭和34年に創設され、この功労者表彰制度によって昨年までに受賞された方々は、自治功労者189名、消防功労者11名、社会福祉功労者66名と2団体、産業功労者33名、教育文化功労者28名と2団体、スポーツ功労者6名と3団体、徳行者11名と2団体、昭和63年町制施行25周年で表彰された特別表彰者3名、感謝状贈呈者7名の合わせて354名と9団体となっています。

この日、藤里町開発センター2階の大ホールで催された表彰式には受賞者12名、町議会議員、町関係者が出席したほか、秋田県知事、衆・参議院議員、近隣市町村長、過去の功労者表彰受賞者など来賓49名が出席。

はじめに町民合唱団が町民歌を斉唱し、続いて佐々木町長が「昨日、11月1日は藤里町が誕生してから50周年という大きな節目を迎える記念の日にあたります。永年にわたり、各分野においてご努力された皆さまと、職務に専念できるよう支えてくださったご家族に深く敬意を表するとともに感謝を申し上げます。今後とも町政に対する一層のご支援とご協力をお願いします」と式辞を述べました。

次に、藤原町議会議長が祝辞を述べた後、受賞者に表彰状と記念品が贈られました。

その後、来賓の中から、佐竹敬久秋田県知事(下山山本地域振興局長代読)、金田勝年衆議院議員、石井浩郎参議院議員、中泉松司参議院議員、能登祐一秋田県議会議長、武田英文秋田県議会議員、中田潤秋田県議会議員、齋藤正寧秋田県町村会会長が祝辞を述べ、最後に祝電が披露され、式典を閉じました。

式典後、町長、議会議長を交えて記念撮影を行い、この良き日を迎えられたことを互いに喜び合いました。

功労者表彰受賞者

社会福祉功労者

(社会福祉の増進に著しい功労があると認められた方)

◎山田昭一さん

(一の渡・76歳)

平成10年12月に民生委員・児童委員に委嘱されて以来、15年間にわたって担当地区の低所得世帯の更生及び要援護世帯への援助活動をはじめ地域福祉の向上に尽力されました。

【榮譽等】

○山本郡社会福祉協議会会長表彰

○秋田県知事表彰
・・・平成20年
・・・平成25年

感謝状

◎佐藤定義さん

(下根城・68歳)

平成2年から平成24年までの22年間、交通安全運動の重要性を認識され、藤里町交通安全協会の役員に就任し、米田・下根城・喜右エ門岱を担当され、協会においては調査施設部に所属し、安全の啓蒙普及に尽力されました。

自らも安全運転に心がけ、無事故無違反を誇るベテランドライバーでもあります。
【栄誉等】
○永年役員表彰
・・・平成9年

○交通安全功労者表彰 (能代警察署・地区協会)
・・・平成11年

○交通安全功労者表彰 (藤里町交対協)
・・・平成12年

◎田中昭一さん

(下町・82歳)

平成13年4月1日から平成25年3月31日までの12年間にわたり、下町地区の農事連絡員を努

められ、農業の振興、調査資料の収集など当該地区のまとめ役として町の伝達事項を地区住民に周知させ、町行政の進展に尽力されました。

◎虹のいえ利用者自治会

平成9年に「交通死亡事故ゼロ告知看板」が設置されて以来、一日も欠かさずに更新し、町民の交通安全への意識向上のため尽力されています。

50周年記念特別表彰受賞者

表彰状

◎鎌田孝一さん

(荒町・83歳)

白神山地の世界自然遺産登録に尽力されました。昭和33年、白神山地のブナ原生林を守る会を結成して理事長を務められました。昭和48年には秋田自然を守る友の会会長を務められ、青秋林道の建設反対運動や原生林の保護に取り組みました。

◎福司満さん

(琴町・78歳)

昭和59年、藤里町芸術文化協会副会長、平成2年からは会長

として26年間の長きにわたり、会の運営に尽力され、地域芸術文化の向上・発展へ貢献されており、地域の文芸誌「北国」を発行して詩作に取り組み詩誌「密造者」同人となりました。また、「流れの中で」「道こ」

「泣ぐな夕陽つこあ」を上梓されています。昭和50年に川柳「やまびこ吟社」を主宰されました。秋田県公募「あきたの文芸誌」部門の選考委員も努められました。藤里町民歌、藤里幼稚園園歌の作詞を担当し、町民に広く歌い継がれています。

◎伊藤碩彦さん

(大館市・71歳)

藤里町出身で、株式会社伊徳(秋田県・青森県に24店舗を展開)の現「代表取締役会長」として活躍されています。また、発祥の地として藤里町にも藤琴店(平成16年新築開店)を継続しており、地元雇用や町内経済に大きく貢献されています。

◎藤里町芸術文化協会

昭和44年に設立以来、長きにわたり郷土芸能の保存伝承や町民の芸術文化活動の発展に大きく尽力されています。

◎藤里町体育協会

昭和44年に設立以来、長きに

わたり町民の健康と体力増進及び町民スポーツの振興に大きく尽力されています。

◎根城青年団

長きにわたり根城豊作相撲の伝統行事を開催し町民に憩いと活力を与えとともに郷土の発展とその保存伝承に尽力されています。

感謝状

◎藤里町の子どもを守る会

平成17年12月1日に設立され、関係機関・団体との連携を密にし、安全安心な地域社会を推進することで大切な子どもたちの命を地域住民が一体となつて守ることを目的とした自主的な防犯活動を開始。町内の関係機関と連携し児童生徒の校外生活及び青少年の健全育成に関する活動を中心に、防犯パトロールによる事故防止、犯罪予防等を積極的に展開しています。

◎心といのちを考える会

命の尊さを広く伝える活動として「心といのちを考えるフォーラム」や「講演会」を開催しています。毎週火曜日には、コーヒースロン「よつてたもれ」を開設し、町民の心のよりどころ

となるなど、住民の心の健康づくり尽力されています。



町民歌斉唱



50周年記念特別表彰



功労者表彰

藤里町町制施行50周年記念ウィーク

11月1日(金)~9日(土)



11月1日~9日、50周年記念ウィークと称して藤里町町制施行50周年記念事業の秋のイベントが開催されました。初日の1日は、開発センター前のオープニングセレモニーを皮切りに、写真と映像「タイムマシンカフェ」「町民時計」がスタートしました。



タイムマシンカフェ

タイムマシンカフェでは、三世代交流館内に町民の方々から寄せられた過去から現在までの写真が飾られました。足を運んだ方々は、見たことのない藤里町の風景に驚いたり、昔のなつかしい顔を探すなど思い思いに写真をながめていました。



町民時計

カフェブースも設置され、写真を見ながらなつかしい昔話に花が咲いているようでした。2日は、「ふじさとおもてなしブース」が登場。祝い餅まきのほか、町内のおもてなし団体が出店。白神ラムの試食には、長蛇の列ができました。



白神ラム試食の行列

この日は記念式典のほか、総合開発センター大ホールで「ふじさと地元学成果発表会」が行われました。地元学は「あるもの探し」チームと「聞き書き」チームに分かれ、夏から活動してきた成果をそれぞれ発表しました。

「あるもの探し」は、地元学スタッフと小・中・大学生で構成した20チームがそれぞれ身近すぎて気づいていない豊かな「あるもの」を探し、まとめた結果を発表。その後、中学生3名と大学生2名が聞き書きの朗読をしました。聞き書きは町内の方29人にインタビューをし、その人生を一人語りの文章にお

こしたもので、この日は指導していただいた作家塩野米松さんをお迎えして、3人の作品を朗読しました。聞き書き作品集は、今後冊子化を予定しています。



あるもの探し発表

午後5時30分からは、女優で劇作家・演出家の渡辺えりさんを講師にお迎えし、「東北大好き！今だからこそ東北の心を全国に伝えたい」の演題で講演会が開催されました。渡辺さんは、東日本大震災後、被災地を訪れた際のことなど、東北についてのお話を楽しく語ってくださいました。



渡辺えりさんによる講演会

9日は、「藤里秋の陣 鍋合戦」と題して、50周年実行委員

が寸劇を披露。藤里町で昔から食べられていたなんこ鍋と、この日のために開発された50(ゴマル)汁の食べ比べが行われました。食べ比べには多くの人たちが参加、結果はなんこ鍋の勝利となりました。



試食にたくさんの人が！

午後2時からは一日だけの映画館「シネマフジサト」で映画「ふるさとがえり」が上映されました。映画上映後は林監督とのトークセッション「ふじさとがえり」が行われ、映画を観た人たちから「自分の歩んできた人生を思い出した」「ふるさととは何か考えさせられた」などの感想が聞かれました。



林監督とのトークセッション

町の足跡

藤里町町制施行50周年記念

50年をふりかえる



昭和48年総合開発センター開館



昭和45年大沢から二ツ井に通じる農免道路開通



昭和45年素波里ダム完成



昭和58年清水袋公園野球場オープン



昭和59年十六貫トンネル開通



昭和62年町営スキー場にロマンスリフト完備



平成3年釣瓶トンネル貫通



昭和63年歓迎広告塔設置



昭和63年町のシンボル等決定



平成5年白神山地世界遺産登録



平成6年ゆとりあ藤里竣工



平成12年藤里(未満児)保育園完成



平成25年町制施行50周年



平成22年アルピオン白神研究所開所



平成16年ふなっち完成

藤里町職員給与等状況を公表します。

町職員の給与は、国の給与制度に準じ、町議会の議決を経た条例で定められています。町民の皆様にご理解をいただくため本町職員の給与等の実態を公表します。この公表は、地域住民の理解と協力を得ながら一層の適正化を図ることを目的に行うものです。なお、これは一部を抜粋して掲載しております。全部の内容については藤里町のホームページに掲載しますのでご覧ください。

1. 人件費の状況 (普通会計決算)

区 分	住民基本台帳人口 (年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	(参考) 23年度の人件費率
24年度	H25.3.31 3,807人	千円 3,725,195	千円 154,272	千円 571,156	% 15.3	% 16.1

2. 職員給与費の状況 (普通会計決算)

区 分	職員数 A	歳 出 額				一人当たり給与費 (B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
24年度	64 人	千円 215,200	千円 24,490	千円 77,723	千円 317,863	円 4,966,609

注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、24年4月1日現在の人数である。

3. 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (平成25年4月1日現在)

区 分	一 般 行 政 職			技 能 労 務 職		
	平均給料 月 額	平均給与 月 額	平均年齢	平均給料 月 額	平均給与 月 額	平均年齢
藤里町	円 292,500	円 329,443	歳 40.0	円 293,500	円 317,032	歳 51.8
	(国ベース)	円 315,418	-	(国ベース)	円 309,646	-
国 減額前 減額後	円 332,446 307,220	円 405,463 376,257	歳 43.1	円 286,850 272,119	円 325,400 309,534	歳 49.9

4. 職員の初任給の状況

(平成25年4月1日現在)

区 分	藤 里 町
一般行政職	大 学 卒 172,200円
	高 校 卒 140,100円
技能労務職	大 学 卒 — 円
	高 校 卒 137,200円

5. 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況 (平成25年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	235,800円	284,600円	350,100円
	高校卒	208,180円	256,200円	305,900円
技能労務職	大学卒	— 円	— 円	— 円
	高校卒	— 円	— 円	— 円

※経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいうものである。

6. 一般行政職の級別職員数の状況

(平成25年4月1日現在)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
標準的な 職務内容	主技 事師	主 任	主 査	係課 長補 長佐	課 長	主 幹		
職 員 数	10人	5人	18人	11人	6人	2人	-	-
構 成 比	19.2%	9.6%	34.7%	21.2%	11.5%	3.8%	-	-
参 考	1年前の 構成比	13.7%	13.7%	33.3%	23.5%	13.7%	0.0%	-
	5年前の 構成比	15.1%	15.1%	34.0%	22.6%	13.2%	0.0%	-

(注) 1 藤里町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。
3 平成18年に8級制から6級制に変更している。

7. 職員手当の状況

(平成25年4月1日現在)

区分	藤里町	国
期末手当 勤勉手当	(24年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.35月分 (1.25月分) (0.65月分) (注) ()内は、再任用職員 に係る支給割合 職制上の段階、職務の級等 による加算措置 役職加算 5~15%	(24年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.35月分 (1.45月分) (0.65月分) 職制上の段階、職務の級等 による加算措置 有
退職手当	(支給率) 自己都合 勤奨・定年 勤続20年 23.03月分 28.7875月分 勤続25年 32.83月分 38.955月分 勤続35年 46.55月分 55.86月分 最高限度額 55.86月分 55.86月分 その他の加算措置 (退職時特別昇給 なし)	(支給率) 自己都合 勤奨・定年 勤続20年 23.03月分 28.7875月分 勤続25年 32.83月分 38.955月分 勤続35年 46.55月分 55.86月分 最高限度額 55.86月分 55.86月分 その他の加算措置

区分	内 容	国の制度 との異同	支給実績
扶養手当	◎配偶者 月額13,000円 ◎配偶者以外 1人につき6,500円 (配偶者・無 1人目 11,000円) 扶養親族である子のうち、15歳に 達する日後の最初の4月1日から 22歳に達する日後の最初の3月31 日までの間の子 1人につき 月5,000円	同じ	7,629千円 1人当たり 平均 211,903円
住居手当	借家の場合支給限度額27,000円	同じ	361千円 1人当たり 平均 180,500円
通勤手当	交通機関利用の場合の支給限度額 55,000円、自家用車等利用の場合 の支給限度額24,500円	同じ	1,497千円 1人当たり 平均 41,572円
管理職 手当	給料月額100分の12.5以下の額	支給割合 が異なる	7,848千円 1人当たり 平均 356,727円
休日勤務 手当	勤務1時間当たりの給与額に100 分の125から100分の150までの範 囲内の割合を乗じた額	同じ	0千円

時間外 勤務手当	23年度	支 給 総 額	
		職員1人当たり支給年額	1,894千円
24年度	支 給 総 額		4,594千円
	職員1人当たり支給年額		71千円

(注) 普通会計の状況である。

8. 特別職の報酬等の状況

(平成25年4月1日現在)

区 分		給料(報酬)月額	期 末 手 当	退 職 手 当
給 料	町 長	712,000円	(24年度支給割合) 6月期 1.375月分 12月期 1.55月分 計 2.925月分	給料月額の47/100×勤続月数 (任期满了時)
	副 町 長	554,000円		給料月額の28/100×勤続月数 (任期满了時)
報 酬	議 長	279,000円	(24年度支給割合) 6月期 1.375月分 12月期 1.55月分 計 2.925月分	
	副 議 長	242,000円		
	議 員	233,000円		

9. 職員数の状況

部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由		
	平成24年	平成25年				平成24年	平成25年				
一 般 行 政 部 門	議 会	2	2	0	教 育 部 門	13	14	1	欠員補充(前年度4/1教育長不在)		
	総務企画	13	14	1		警 察 部 門	0	0		0	
	税 務	3	2	▲1		小 計	64	65		1	
	民 生	9	9	0		会 公 病 院	0	0		0	
	衛 生	4	4	0		計 営	1	1		0	
	労 働	0	0	0		企 業	1	1		0	
	農林水産	11	11	0		部 業	4	4		0	
	商 工	5	5	0		門 等	小 計	6		6	0
	土 木	4	4	0		合 計	70	71		1	
	小 計	51	51	0			【71】	【71】			

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。 2 【 】内は、条例定数の合計である。

第33回

藤里町交通安全町民大会

10月29日、総合開発センターにおいて、第33回藤里町交通安全町民大会が開催され、交通安全功労者や交通安全作品コンクール入賞者を表彰するとともに、交通安全運動への取り組みや意識を高め、町民一丸となって事故防止運動を積極的に展開することなどの大会宣言案を採択。事故のない安全で安心な町づくりを誓いました。

本大会は、悲惨で恐ろしい交通事故を町民総ぐるみで防ぎ、安全で住みよい町を目指すとともに、町民一人ひとりの交通安全意識を高めようと、毎年開かれていくもので、この日は、藤里町交通指導員をはじめ、各地区の交通安全推進員や関係者など、100名余が参加しました。初めに、交通事故犠牲者に黙とうを捧げ、続いて成田副町長よりあいさつが述べられたあと、交通安全功労者の方々と交通安全作品コンクール入賞者に対して表彰状と記念品が贈られました。

その後、浅利教育長から交通安全作品コンクールの審査講評が報告され、続いて作文の部で最優秀賞を受賞した児童1名、優秀賞を受賞した3名を代表して中学生1名が作文の朗読をしました。

そして、最後に藤里町交通安全母の会代表が大会宣言案を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

交通安全功労者

- ◇市川勇樹さん (朝日ヶ丘団地)
- ◇市川幸春さん (愛宕第二)

交通安全作品コンクール

- 【作文の部】
- 《最優秀賞》
- ◇三浦紗樹さん (藤里小学校4年)
- 「安全で安心な藤里町」
- 《優秀賞》
- ◇伊藤絵梨華さん (藤里中学校3年)
- 「一人一人の心がけ」

- ◇淡路海地さん (藤里小学校2年)
- 「こうつうルールをまもるよ」
- ◇中嶋匠智さん (藤里小学校2年)
- 「ちゃんとまもろう、こう通あんぜん」

《入選》

- ◇古川優奈さん (藤里中学校1年)
- 「死亡事故ゼロ継続」
- ◇東郷海斗さん (藤里中学校3年)
- 「自分でつくる交通ルール」
- ◇高橋夏蓮さん (藤里中学校3年)
- 「交通事故を減らすために」
- ◇佐々木智敬さん (藤里小学校5年)
- 「虫にも動物にもやさしい藤里町」

【ポスターの部】

- 《最優秀賞》
- ◇臼井陽菜さん (藤里小学校2年)
- 「手をあげて 交つう安全」
- 《優秀賞》
- ◇市川はまれさん (藤里小学校4年)
- 「たしかめて いつ飛び出すか わからない」

- ◇三谷ひよりさん (藤里小学校5年)
- 「目をはずす油断が 命を見はずす」
- 《入選》
- ◇山田妃恵さん (藤里小学校1年)
- 「みぎてを たかく」

- ◇中嶋匠智さん (藤里小学校2年)
- 「とび出し ちゆうい」
- ◇石岡暖陽さん (藤里小学校3年)
- 「いんしゆうんてん ぜったいやめよう!!」
- ◇藤田菜央さん (藤里小学校5年)
- 「飲酒運転命をうばう」
- ◇石岡美夢さん (藤里小学校6年)
- 「シートベルト忘れない 大切な命守るため」

作品紹介

『安全で安心な藤里町』



三浦紗樹さん

私は、三年生の夏に藤里小学校に転校してきました。前は秋田市に住んでいました。秋田市には、大きな通りがあり、車も多かったです。交通事故で人がなくなったりというニュースを聞くと「こわいなあ。」と思いました。信号がない道路をわたるときは、とてもこわかったです。おつかいに行くときは、そこをあまり通らないようにしていました。遠回りになっても、あまり車がこない細い道を通っていました。藤里町に住んでは、道路を歩いていてこわいと思うことはなくなりました。車の量が少ないこともあると思いますが、町の人たちが、ゆずりあい、注意しあって生活しているからだと思います。

今、私は、毎日歩いて登下校しています。いとくの前の通りは歩道がなく、歩く場所も狭いのですが、車がすれちがうときに速度を落としてくれます。私は、父と自転車で行くことがありますが、中学校へ向かうT字路にさしかかったとき、反対側から来た車が道をゆずってくれました。とつても心が温かいなと思いました。おたがいに、いつもゆずりあっているから事故も少ないのだと感じます。

そして、私がこの町ですごくいいと思ったのは、交通死亡事故が四千三百日以上起こって

ていないことです。約十二年間も交通事故で亡くなってしまった人がいないということとです。父の新聞の切り抜きでそのことは知っていました。この間二ツ井にでかけるとき、矢坂の看板をみたらさらに記録がこうしんされていきました。それだけ藤里町の人は、事故にあわないよう心がけているんだなあと感じました。

藤里小学校では、毎年四月に交通安全教室を行っています。四年生は、自転車の安全な乗り方をたしかめました。横断歩道では自転車をおりてわたる、曲がり角では車が来ないかしつかりかくにんするということとが、あらためてわかりました。これからも、町の人たち、先生やけいさつの人のお話をよく聞き、みんなで交通ルールを守り守っていききたいです。自分でも、事故のない安全な町であるために、事故にあわない、事故を起こさないように気をつけていきたいです。



伊藤絵梨華さん

『一人一人の心がけ』

私の住む藤里町では、交通死亡事故ゼロ日数が、二〇一二年八月七日に四〇〇〇日達成しました。これは、約十二年間続いているそうです。また、この記録は秋田県内一であり、町単位では東北一ということだそうです。現在は四三〇〇日を超え、さらに記録を伸ばし続けています。このことから、町民の皆さん一人一人が、毎日交通

ルールに気を付けているのだろうと感じました。『油断大敵』というように、少しの油断が大きな事故につながってしまうこともあるからです。

私も、左右を確認してから道路を渡ったり、坂道は自転車に乗らずに手で押して歩いたりなどと、基本的なことですが、必ず気を付けています。このような意識を持つだけでも、事故は起きにくくなるため、一番大切なことだと思っております。

そのおかげで、私は事故に遭ったことはありません。しかし、事故現場を目撃したことは何度もあり、車が潰れてしまったものもありました。少しの不注意でこのような事故が起きてしまうこともあるから、とても怖いです。

また、最近自転車に乗る人で危険な行為をする人が増えていきます。中でも、傘さし運転や、音楽を聞きながら自転車に乗る人が多いようです。他にも並列走行や、スピードの出過ぎなども危険な行為の一つです。これらの行為が、事故につながってしまいます。

私は以前、小学生の子どもが自転車に乗って坂を下っているときに、六十歳くらいの歩行者とぶつかってしまい、歩行者が転倒してしまったという事故を聞きました。このとき、小学生の子どもは多額の賠償金を払わなければいけなくなったそうです。しかし、この場合事故を起こしたのは小学生だったため、賠償金は親に請求されてしまったそうです。このような事故を起こしてしまうと、親にも迷惑をかけてしまうこともあるということです。しかし、事故を起こした人の年齢が十三歳以上である場合、その人に賠償金が請求されてしまうと言きま

した。私たち中学生も事故を起こしてしまうと、大変なことになってしまいます。事故一つで、人生が変わってしまうかも知れません。だから、私が普段気を付けている、「坂を下るときは、手で押して歩く」ということをするだけで、先ほどのような事故は防げたと思います。ニュースを見ていても、未然に防げていた事故がよくあります。そのような事故で命を落としてしまうのは、とても悲しいことだと思います。

このように、一人一人の心掛けで事故は少なくなるということです。そのおかげもあって、藤里町の交通死亡事故ゼロ日数は四〇〇〇日を達成できたのだと思います。これからも、交通死亡事故ゼロが途絶えぬように、交通ルールを守り、安全確認をしっかりとして事故の無いようにしたいです。また、車に乗っているときも、シートベルトを忘れずに、自分の身は自分で守りたいと思います。



淡路海地さん

『じいじのルールをまもるよ』

学校で、こうつうあんぜんきょうしつがありました。おまわりさんがきて、こうつうルールをおしえてくれました。「おうだんはどうをわたる前に、右、左、右をちゃんと見て、手をあげてわたるんだよ。」

ぼくが、おうだんはどうをわたるのは、学どうに行くときです。ちゃんと、右、左、

右を見て、手をあげてわたっています。ぼくはいえは、どうろのすぐそばにあります。おうさんとキヤッチボールをするころがつてしまうことがあります。ボールをひろおうとして、とび出してしまったところがあって、おうさんに何回もおこられました。あまり車がこないで、ゆだんしていたのです。でも、おうさんの話を聞いてからは、あわてないで、ちゃんと右、左、右を見てから、ボールをとりに行くようになりました。

「ちゃんと、できるようになったね。」と、おうさんにほめられてうれしかったです。いもうとと二人で、いえの近くであそんでいると、いもうとは、どうろのまん中をはいたり、きゆうにどうろをわたったりすることがありました。だから、ちゃんと白い線の中を歩くことや、きゆうにわたらないことを教えてあげました。でも、たまに、ぼくが言ってもちゃんとやらないから、けんかします。おかあさんに、「そういうときは、手をつないであげてね。」と言われたので、ぼくは、いもうとと手をつなぐようにしています。

これからも、おまわりさんに教えてもらったことをまもります。おうさんやおかあさんの言うことを聞きます。いつでも、こうつうルールをまもって、じこにあわないうようにします。そして、いもうとや一年生にも、教えてあげたいと思います。

『ちゃんともまろう、こう通あんぜん』



中嶋匠智さん

ぼくは、四月に学校のこう通あんぜん教室で、おまわりさんに、「右、左をしっかりと見よう。」と教えてもらったことを、わすれないようにしています。

ぼくのいえは、こうむてんです。いえのまわりでは、クレーンつきのトラックやフォークリフトなど、しごとにつかう車がたくさん通ります。それから、いえの前のどうろは、ビュンビュンスピードを出す車も、ときどき通るので、右左右をしっかりと見て気をつけてあそぶようにしています。とくに、友だちとキャッチボールをしていて、ボールがどうろへころがってしまったときは、どうろをわたる前に、右左右をしっかりと見て、車がこないことをかくにんしてから、ボールをひろうようにしています。

いえから、ほいくえんのこうえんまで、お母さんと一回だけ、じてん車で行ったことがあります。大きなどうろを二回わたらなければならぬので、おうだんほどうやどうろをわたるときは、じてん車から下りてわたりました。学校で教えてもらったので、ぼくはしっかりとまもりました。いえのまわりでのるより、大きなどうろでじてん車にのるのは、とてもこわかったです。だから、とくに気をつけて、こう通ルール

をまもろうと思いました。ぼくは、こう通あんぜん教室にきてくれたおまわりさんが、かっこいいと思いました。だから、もし、ぼくが、おまわりさんになったら、車をうんでんする人が、ちゃんとシートベルトをしているか、チェックします。それに、正しいじてん車ののりかたを教えてあげたいです。車にのる人もじてん車にのる人も歩く人も、みんながここにあわないようにみんなのいのちをまもるおまわりさんになりたいです。



白井陽菜さん



市川ほまれさん



三谷ひよりさん



山田妃恵さん



中嶋匠智さん



藤田菜央さん



石岡美夢さん



石岡暖陽さん



立派な農産物がずらり

10月26日、27日の2日間、町民体育館と総合開発センター、グラウンド、三世交代流館を会場に町民祭が開催されました。体育館では、農産物品評会や商工業者による販売コーナー、フリーマーケットが軒を連ね、ステージでは、初日、2日目と中学校吹奏楽部の演奏や幼稚園児による踊り、マリンバコンサートやFlashによるスペシャルライブなどが催され大勢の人で賑わっていました。

また、2日目には、大ホールで町民芸能発表会が行われ、出演者らは、日頃の練習の成果を披露していました。

白神のふるさとまつり 2013 町民祭開催

◇農産物品評会受賞者◇

◎優秀賞

- 加藤昇・浅間町 (ネギ)
- 桂田浩樹・谷地 (りんどう)
- 小森秋夫・米田 (りんどう)
- 細田聰・下モ町 (キャベツ)
- 加藤晃子・根城岱 (まいたけ)

◎奨励賞

- 淡路アヤ・下モ町 (にんじん)
- 佐藤アヤ・一の渡 (にんじん)
- 斎藤孝子・根城岱 (ネギ)
- 白神農園ふじさと (ネギ)
- 白神農園ふじさと (キャベツ)
- 伊藤礼二・大町 (キャベツ)
- 小森アヤ・米田 (白菜)
- 小山ミチ・巻端家 (白菜)
- 高橋岩男・院内岱 (大根)
- 小森敏子・上中畑 (大根)
- 桂田陽子・薄井沢 (ブロッコリー)
- 細田聰・下モ町 (ブロッコリー)
- 市川文子・浅間町 (里芋)
- 加藤博正・根城岱 (しいたけ)
- 佐々木一日出・室岱

(ジャガイモ)

- 淡路広光・上町第二 (りんどう)
- 菊地昇一・上町第一 (りんどう)
- 荒川忠良・金沢 (りんどう)

(敬称略)

◎びっくり賞

- 佐々木敏・室岱 (カボチャ)
- 小山ミチ・巻端家
- 小森鉄雄・上中畑 (ヤーコン)
- ◎アイデア賞
- 細田祐子・朝日ヶ丘団地
- 淡路悦子・上町第一 (アレンジフラワー)

グラウンドゴルフ大会結果

◎男子

順位	氏名	打数	ワン
1	市川和夫	76	2
2	成田和夫	76	-
3	成田善勝	77	1
4	桂田達郎	81	1
5	藤本兼雄	81	-
6	菊池米治郎	82	1

◎女子

順位	氏名	打数	ワン
1	堀内ミヨ	78	1
2	明石靖子	79	2
3	佐々木レイコ	88	1
4	小山ユウ	88	-
5	佐藤キヌ	89	-
6	伊藤ノリ子	89	-



はたらくるま大集合



練習の成果を披露



展示物が盛りだくさん



スペシャルライブ

《うちの家族を紹介します!》

◆細田チャンベイリーくん
みんなにチャンプと呼ばれています。おやつが欲しいときは短い足を精一杯上げておねだり。



まちのできごと

あいにくの雨模様

白神感謝祭

10月20日、素波里園地にて白神感謝祭(第31回素波里紅葉祭り併催)が開催されました。

この日は雨に見舞われ、音楽ライブを屋内に変更し、フュージョンポップスバンドの「EOS」や元オフコースのドラマーらによる「Omajiro. mac」がステージを練り広げました。

また、手づくり楽器ワークショップでは、親子で仲良く「カホン」を制作する姿が見られました。



どんな音色かな?

第13回JAあきた白神

子牛品評会

10月23日、大野岱放牧場にてJAあきた白神主催の子牛品評会が開催されました。この日は、町内外からメス、去勢の部合わせて19頭が集まりました。

審査の結果、メスの部は桂田安太郎さん(清水岱)の「あつやすさくら」が優

等賞に、去勢の部は小山吉一さん(谷地)の「北国」が最等賞に選ばれました。



立派な子牛たち

ポイ捨ては止めよう

身体障害者協会美化運動

10月29日、藤里町身体障害者協会(小森正直会長)によるごみ拾いが行われました。



町をきれいにしてくれました

この日は、会員12名が参加し、粕毛地区周辺く消防署、ゆとりあ周辺く峨瓏の滝の県道脇までを歩きながら、ポイ捨てされた空き缶やペットボトル、たばこの

吸い殻等を拾い集め、美化運動に取り組んでいました。

万が一の有事に備え

秋季消防訓練

平成25年度藤里町消防団秋季訓練が11月3日、第3分団管内の粕毛地区を会場に行われました。

この日は、82名の団員が参加し、粕毛グラウンドで開会式が行われた後、旧粕毛まいたけセンターからの出火を想定した訓練と水防訓練が実施されました。想定訓練では、各分団が出火現場まで駆けつけ、伝達・放水まで見事な連携で消火活動を行いました。水防訓練では、消防署員から土のう袋の作成・使用方法について指導を受け、有事に備えて手順を確認しました。



見事な連携でした

実りある学習を終えて

ふじこま大学閉校式

藤里町教育委員会が主催するふじこま



1年間の努力を称え

次代を担う子どもの

文化芸術体験『落語体験』

11月7日藤里中学校、8日藤里小学校

大学の閉校式が11月7日、総合開発センターにおいて行われました。式では、修了証(努力証4回)を受賞された方々の代表者と、修士証(努力証6回)、博士号証(努力証8回)、大学院証(努力証12回)を受賞された方々に証書が授与されました。また、午後からは、学習発表会が行われ、1年間学んだ踊りや民謡の学習成果を披露していました。

(敬称略)

- 【博士号課程修了証書受賞者】
- ・藤田 列子(室 岱)
- 【大学院課程修了証書受賞者】
- ・明石 靖子(荒 町)
- ・石田 ノリ(寺屋 布)
- ・小林 綾子(寺 沢)
- ・村岡 美恵子(琴 町)

宝くじ助成金

今年度、町では米田地区活動推進協議会(小山満敬会長)の要望を受けて、(財)自治総合センターの宝くじ助成事業(一般コミュニティ助成事業)を活用し、生活環境の整備のための除雪機、根城豊作相撲で使用する行司・呼出衣装一式やよさこい用の旗、そのほか地区活動の充実を図るためにバレー用具一式、ワンタッチイベントテント一式など、総額約285万円の備品を購入しました。

この事業により整備された備品を活用し、地区住民の連帯感や積極的な行事参加を図るとともに、コミュニティ活動のより一層の活性化が期待されます。

◇◇備品内訳◇◇

- ◎除雪機
- ◎行司・呼出衣装一式
- ◎よさこい用旗
- ◎バレー用具一式
- ◎ワンタッチイベントテント一式



において、文化庁の事業「次代を担う子どもの文化芸術体験」の一環として落語体験が行われました。はじめに中学生、小学生の代表者がユニークな芸名をつけて登場し、この日のために練習した太鼓と落語を披露しました。その後、落語芸術協会の雷門音助さん、三笑亭朝夢さん、翁家喜楽さん、三遊亭とん馬さんが落語や曲芸を披露し会場を盛り上げました。



本物の落語家のように

みんなのわだい

《うちの家族を紹介します!》
◆細田ハナちゃん
ここで生まれて19年…
最近はジャンプが苦手です。
それでも日課の散歩と好物で毎日元気に過ごしています。



藤里町総合開発センター
2階大ホール

平成25年

12月16日(月)

午後6時00分開場
午後6時30分開演

第
15
回

白 神 山 地 寄 席



進行／浅利香津代

入場無料

三遊亭
円
楽

三遊亭
楽
天



【お問い合わせ先】
藤里町教育委員会
☎79-1327

藤里発☆ハピネッツ応援ツアー ホームゲームをみんなで応援しよう!

『秋田ノーザンハピネッツ VS 横浜ビー・コルセアーズ』を一緒に観戦するツアーです。熱いブーストと一緒にハピネッツに届けよう!

観戦後は、出会った仲間と食事会で盛り上がりましょう♪

- ☆実施日 12月15日(日) 秋田県立体育館
- ☆観戦時間 14:00～ 秋田ノーザンハピネッツ VS 横浜ビー・コルセアーズ
※お食事は、TuTizaki 港 CAFE' ベイパラ食堂
- ☆出発時間 藤里町出発 11:00
- ☆参加条件 20歳以上(学生除く)の独身男女 各15名
- ☆参加費用 男性:3,000円 女性:2,000円
- ☆申込方法 件名に「12/15イベント申し込み」と記載。必要事項の①氏名、よみがな②生年月日
③郵便番号、住所④電話番号を記載のうえ下記のメールアドレスへお申し込み下さい。
※携帯メールの場合はこちらからのパソコンメールを受け取れる設定にしてください。
(ドメイン指定許可等)申し込み後、5日以内に申し込み完了として、お支払い方法等を記載したメールを送信いたしますので必ずご確認ください。
- ☆申込締切 平成25年12月10日(火)まで
↓申し込みQRコードです



docomo



au, SoftBank



【お問い合わせ先】 藤里町役場総務課少子化対策室 ☎79-2111
Mail: soumu@town.fujisato.akita.jp

町制施行50周年 記念切手を発売しています

町制施行50周年を記念して、切手シートを製作しました。

80円切手が10枚のシートとなっています。

価格 1シート 1,200円

ご希望の方は、下記でお買い求めください。

- 藤里町役場 1階 窓口
- 藤里町役場 2階 総務課(企画財政係)

【お問い合わせ先】 藤里町総務課企画財政係 ☎79-2111





みんなの掲示板



短歌・俳句・川柳

町民祭文芸大会（借楽荘）

○俳句

一位 竜胆や旅愁の様に町史読む
 二位 残照を惜しみ蕎麦刈る三角田
 三位 草むらのめくらぶどうや七つ星
 佳作 秋雨や友黄泉の道はるか
 佳作 園児等のはしやぎ行く道草紅葉
 佳作 晩秋の暮色へ帰る孫ふたり

○川柳

一位 また来るを残して母の手を握る
 二位 あいづちは約束のない自負がある
 三位 慰めたつもりが相手を迷わせる
 佳作 少子化のまま秋風の渡り行く
 佳作 千の風の踊り習いに寺通い
 佳作 半農になつて農政やぶにらみ

宗美百憲恵鈴 光憲 恵美若
 守穂合子子美美峰 流子 幸美穂子

掲載記事を募集します！

広報ふじさとでは、広報手段を持っていない団体やサークル、町民のみなさんが行う文化・学習・スポーツ・まちづくりなどの様々な催しや活動を紹介します。

ぜひ、ご利用くださるようお知らせします。※政治、宗教、営利目的のものは掲載できません。詳細については、下記までお問い合わせください。

【申込み・問い合わせ先】

藤里町総務課総務係（広報担当）

☎ 79-2111 FAX 79-2293

●次回広報：12月25日発行号

●原稿締切日：12月11日(水) 午後5時まで

《税務署からのお知らせ》

平成26年4月1日から 消費税率が8%へ 引き上げられます

平成26年4月1日から消費税及び地方消費税の税率が8%に引き上げられます。

また、今回の引き上げに際し、消費税の円滑かつ適正な転嫁を確保するため、消費税転嫁対策特別措置法によって、次のような措置が設けられました。

1) 総額表示義務の特例

税込価格であると誤認されないための措置を講じていれば、税込価格による表示をしなくともよいとする特例（表示例：100円（税抜き））。

2) 転嫁拒否等に関する措置

事業所間の取引で、税率の引き上げ分の転嫁を拒んだり、チラシや店頭で転嫁を阻害する表示（例：「消費税は転嫁しません」等の表示）を規制する措置。

※詳しくは、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）をご覧ください。

秋田県種苗交換会 農産物の審査結果

第136回秋田県種苗交換会が、仙北市を会場に10月31日～11月6日までの7日間にわたって開催され、藤里町からも農家の方々が受賞されました。

【審査結果】

- ◎農林水産大臣賞・秋田県知事賞
桂田浩樹さん・谷地（リンドウ）
- ◎秋田県知事賞・秋田県市長会会長賞
加藤晃子さん・根城岱（生シイタケ）
- ◎2等賞 淡路静司さん・館の下（まいたけ）
- ◎3等賞 小森秋夫・米田（リンドウ）
淡路悦子・上町第二（リンドウ）



農林水産大臣賞の桂田さん
秋田県知事賞の加藤さん

たばこは地元から!!
～たばこ税は
貴重な財源です～

Information 広場

山本組合総合病院 緩和ケア市民公開講座

【日 時】12月7日(土) 13:00～16:00
13:00受付 13:30開始

【場 所】プラザ都

【講 師】○慈山会医学研究所附属坪井病院
看護部長 清水千世さん

演題「あなたらしく生きていくために」
～ホスピスでの出会いを通して～

○ホームケアクリニックえん

緩和ケア認定看護師 高橋美保さん
演題「伝える・伝わるができるように」
～在宅ケアを通して～

【対象者】一般の方、医療・保健・福祉従事者 など
※参加費無料

【お問い合わせ先】山本組合総合病院 がん相談支援センター
☎52-3111

人権特設相談所の開設

次のとおり人権特設相談所を開設します。いじめ、登記、家庭内や近隣間のもめ事などの問題、困りごとを抱えている方は、お気軽にご相談ください。

【日 時】12月1日(日) 午前10時～午後3時

【場 所】藤里町総合開発センター 1階和室
※相談は無料で秘密は守ります。

【地域の人権擁護委員】

・村岡 信 和 (☎79-1130)

・夏井 忠 幸 (☎79-2348)

・佐々木 明 美 (☎79-2064)

○人権擁護委員と秋田地方法務局能代支局では、いつでも相談に応じています。(☎54-4111)

【お問い合わせ先】藤里町町民課町民福祉係
☎79-2113 (内線:147)

農業用免税軽油免税証の交付申請について

農業用機械に使用する軽油の免税証交付申請の集合受付を行います。下記受付日に都合がつかない場合、他の会場でも申請することができますので、下記お問い合わせ先にご連絡ください。

【受付日】平成26年1月9日(木)

【時間】10:00～11:30・13:00～15:30

【会場】能代市役所二ツ井庁舎 大会議室

【必要書類一覧表】

区 分	新規	更新	継続	書換
免税軽油使用者証		○	○	○
機械の購入証明書	○			○
免税軽油使用者証 交付申請書	○	○		
誓 約 書	○	○		
秋田県証紙(400円)	○	○		
免税証交付申請書	○	○	○	○
農業委員会が交付する 耕作証明書	○	○	○	○
免税軽油の引取り等に 係る報告書		○	○	○
前年購入した軽油の 納品書又は購入証明書		○	○	○
印 鑑	○	○	○	○
未使用の免税証		○	○	○

【お問い合わせ先】

秋田県総合県税事務所山本支所

☎0185-52-6201

秋田県総合県税事務所課税部課税第二課

☎018-860-3341

総合県税事務所からのお知らせ

◎個人事業税(2期)の納期限は12月2日(月)です。
忘れずに最寄りの金融機関で期限内に納めましょう。
口座振替をしている方は預金残高の確認をお願いします。

◎個人事業税の納税もぜひ口座振替で!!

個人事業税も口座振替にしませんか。県内の銀行、信用金庫、労働金庫、信用組合、農協などに口座があれば利用できます(ゆうちょ銀行は利用できません)。

【お問い合わせ先】

秋田県総合県税事務所納税部収納管理課

☎018-860-3331

秋田県総合県税事務所山本支所

☎0185-52-6201

北朝鮮人権侵害問題啓発週間

平成18年6月に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行され、12月10日(火)～16日(月)は北朝鮮人権侵害問題啓発週間とされました。

警察では、日本人が被害者である拉致容疑事案12件(被害者17人)、朝鮮籍の姉弟が日本国内から拉致された事案1件(被害者2人)の合計13件(被害者19人)を北朝鮮による拉致容疑事案と判断し、北朝鮮工作員等拉致に関与したとして8件に係る11人について逮捕状の発付を得て国際手配を行っています。

北朝鮮当局による人権侵害に関する国民の認識を深めると共に、その実態を解明するため、日本人拉致容疑について情報をお持ちの方は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】能代警察署 ☎52-4311



いーぶるだより

藤里町三世代交流館 図書室
でんわ 79-1327 (内線342)

★利用できる時間は
 (平日) …午前10時～午後6時
 (土・日・祝祭日)
 …午前9時15分～午後6時

※土・日・祝祭日は、午後0時から午後1時のあいだは、一時休みます。

★図書はひとり3冊まで、14日間までかりることができます。

新しく入った本

- だから荒野 桐野夏生
- 傷 堂場瞬一
- ヒカルの卵 森沢明夫
- 風に立つライオン さだまさし
- ゼツメツ少年 重松 清
- さきがけ文学賞選集 第1巻 秋田魁新報社
- 調理もできちゃうランチボックス！
スーパージャーレシピ ももせいづみ
- あの銘店から定食屋まで！
ヒミツの味つけ手帖 主婦の友社

ほ か

子どもの本

- 必ず役立つ吹奏楽ハンドブック 呼吸編
丸谷 明夫・監修 ヤマミュージックメディア
- がむしゃら落語 赤羽じゅんこ
- つくって楽しい！世界のスイーツ
宮沢うらら
- ミミ&リリ フェルトマスコット大作戦
アレンジ・アロンゾ
- やさしいかいじゅう ひさまつまゆこ
- どろぼうがっこうぜんいんだつごく
どろぼうがっこうだいうんどうかい
かこさとし
- しろうさぎとりんごの木 酒井駒子・え
- あいすることあいされること
みやにしたつや
- すなばのスナドン 宇治 勲
- ぼく うまれたよ 花之内雅吉



冬に向かい、室内で過ごすことが多くなりますね。あったかいお部屋で本と親しんでみることもおすすめです!!



今年も冬がやってきましたね！
カラダ、温まっていますか？
 紅葉が駆け足で終わり、いつもより早い冬がやってきました。寒さに負けず、冬の楽しいイベントを過ごすためにも、日頃の健康づくりが一番ですね。免疫力アップに効果的な「体温を上げる」レシピや運動法などをピックアップして展示・貸出中です。どうぞご利用ください。



冬の準備を言えは
編み物の本、あります
 やっほいっほい
 毛糸の柔らかくあたたかい感触を楽しみながら、一目、一目と編んでいく時間を楽しんで…。そんな時間の積み重ねで完成する作品を纏う贅沢を、ほんのちよっぴりお手伝いします。
 セーターやストールから、手袋、スヌードなどの小物まで、編み物の本を貸し出ししております。

カメラトピックス としほつまついぶい...



「本のリサイクル市」には、町民の皆さんから寄せられた絵本や実用書、小説などを図書室内に置き、自由に手にとっていただけるようにしました。多くの方が立ち寄り、気に入った本を持ち帰ってくださいました。ミニこうさく教室は「ハロウィーン・リース」づくりを行いました。今年もたくさんの子どもたちが来場して、充実した2日間でした。また、2ヶ月に渡って行った「デッサン教室」の作品展にも、たくさんの方が足を運び作品を鑑賞してくださいました。

DECEMBER 12月の行事予定 師走

※行事は変更になることがあります。詳しくは、関係機関へお問い合わせ下さい。

1	日	友引	小学校2学期末PTA（全校出校日） 人権特設相談所（10:00 総合開発センター） 歳末たすけあい運動（31日まで）	17	火	先勝	
				18	水	友引	元気の源さんクラブ
2	月	先負		19	木	先負	
3	火	大安	肝炎検診（15:00 総合開発センター）	20	金	仏滅	幼稚園・小学校「クリスマス交流会」
4	水	赤口	2歳児歯科健診（10:00 総合開発センター） 元気の源さんクラブ	21	土	大安	
5	木	先勝	農業委員会総会 ふじさとスポーツクラブ交流大会 （9:30 町民体育館）	22	日	赤口	中学校吹奏楽アンサンブルコンテスト 北部地区クリスマス会
6	金	友引	中学校振替休業日	23	月	先勝	天皇誕生日
7	土	先負	幼稚園「おたのしみ会」	24	火	友引	
8	日	仏滅		25	水	先負	幼稚園・小学校・中学校終業式 保育園クリスマス会 ばんぶ〜ひろば：0・1・2歳児（9:00 保育園） 元気の源さんクラブ
9	月	大安	小学校開校記念日 中学校2学期末PTA 身体障害者協会友愛訪問	26	木	仏滅	幼稚園・小学校・中学校冬季休業（1/13まで）
10	火	赤口		27	金	大安	官庁仕事納め
11	水	先勝	白神山地世界自然遺産登録20周年記念式典 行政相談（10:00 総合開発センター） 年末の交通安全運動（20日まで） 元気の源さんクラブ	28	土	赤口	
12	木	友引	はっぴいばんぶ〜（9:30 総合開発センター） 専門相談所（10:00 総合開発センター）	29	日	先勝	
13	金	先負		30	月	友引	保育園保育終わり
14	土	仏滅		31	火	先負	幼稚園預かり保育休み（1/5まで） 矢坂地区初詣
15	日	大安	家庭の日	固定資産税 第4期納期限 国民健康保険税 第6期納期限			
16	月	赤口	第15回白神山地寄席 人形劇観劇（幼稚園）				



ほくは藤里町の
マスコットキャラクター
ユッターです。

今年には紅葉を見に行きたいと思っていたのですが、実行しないうちに雪が降ってきて、いつの間にか冬が訪れていたことに気付きました。そんな中、立ち寄った宝昌寺の境内は、赤と黄に染まった木々の上に真っ白な雪が降り積もり、とても美しい光景でした▼先日、文章力の研修を受けてきました。読み手にわかりやすい簡潔な文章を書くためのポイントを学んだのですが、理屈はわかってはすぐには文章に反映させられないのが現実です…。これから少しずつ実践できるように努力していきたいと思っております▼50周年ふりかえりのページを作るために過去の広報を引っ張り出しました。昔の広報は料理や親子の対話など住民のみならず、人が登場するコーナーが多く設けられており、参考になります。いつか昔なつかしいコーナーが復活するかもしれません（真）

編集後記